

令和7年度
妙典の教育

第1回学校運営協議会
令和7年5月16日(金)

❖学校経営の理念

Well-Beingな学校づくり

Well-Beingとは…

誰もが心身ともに満たされた、持続的な幸せにある状態

子ども、保護者・地域、教職員の【Well-Being】の実現

- ・子どもが、**通いたい**学校
- ・保護者・地域が、**通わせたい**学校
- **朝、目覚めたら行きたい**学校、放課後、**帰りたい**家庭
- ・教職員が、**働きたい**学校

❖学校教育目標

主体性を育てる
～自主・自律・共生～

❖主体性とは

自分で決めて、自分で実行する力

自分の願いや目標を持ち <自主>

自分で考え、判断、行動し <自律>

多様な人々と協働しながら <共生>

自らの可能性を発揮していく資質・能力

❖目指す子ども像

「自分で考えて、決める子」

自らの足で、
前に力強く一步を踏み出せる子

❖「自分で考えて、決める子」の
3つの心

▲**自主 いけいけはあと**

- 自分から進んで行動できる
- 自分で考えたり、判断したり、工夫したりできる
- どんなことでも、前向きに考えて行動できる

▲**自律 しっかりはあと**

- 自分で決めたことは、自分で守ることができる
- 自分の行動や心を自分でコントロールできる
- あたりまえ3ヶ条)を守ることができる

①時間厳守 ②整理整頓 ③挨拶励行

▲**共生 あつたかはあと**

- 他人の気持ちがわかる
- 他の人を尊敬できる
- 他の人と協力しながら行動できる



❖目指す学校像

■ 信頼される学校

- 子どもや保護者の思いや願いに寄り添う学校
- 安全・安心で、教育環境の整った学校
- 保護者、地域と連携し地域とともに歩む学校

❖目指す教師像

■ チーム「妙典小」

- 子どもを主役にする教職員
 - ・多様性を尊重しながら、一人一人の子どもを理解し、人権意識を持って子どもを主役にできる教職員
- 協働する教職員
 - ・働き方改革を進めるとともに、それぞれのよさや専門性を生かしながら協働し、喜びや困難を共有する教職員
- 学び続ける教職員
 - ・自己を見つめ、課題意識と向上心を持ち研鑽に励む教職員

❖教職員の基本姿勢

■ 凡事徹底

- 松下幸之助、鍵山秀三郎 —
 - ・当たり前を当たり前にやる → **当たり前を見直す**
 - ・簡単なこと、だれにでもできることを徹底してやる(平凡を非凡に努める)

■ 時を守り、場を清め、礼を正す

- 森信三(教育哲学者 1892~1992) —
 - ・時間厳守、整理整頓、挨拶励行

❖学校教育目標の実現に向けて

- **生徒指導の3つの機能**
- **4つの重点目標**
- **12のアクション**

❖生徒指導の機能を生かした支援

■ 生徒指導の3つの機能

- (1) **存在感**:一人一人の自己存在感を大切にする。
一人一人の独自性を大切にして、児童が存在感や自己肯定感を持つるようにする。
- (2) **自己決定**:自己決定の場や機会を大切にする。
児童が自分で考えて、決めて、実行できるようにする。
- (3) **共感的人間関係**:共感的な人間関係を大切にする。
児童と児童、教師と児童が、人間的なふれあい(弱さや不安の自覚)のもとで、共感的に理解し合うようにする。

❖重点目標

■ 4つの重点目標

- (1) 確かな学力
→ **主体的な学び**
- (2) 豊かな心
→ **認め合う仲間**
- (3) 健やかな体
→ **健康安全のセルフ・マネジメント**
- (4) 信頼される学校
→ **寄り添う支援**

❖アクション

■ 12のアクション

(1) 主体的な学び・探究的な学び

- ① 言語活動の充実(読書教育推進校)
 - ・読む、書く、話す、聞く活動の工夫・充実
- 令和7年度子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
- ② ICT(タブレット)活用による個別最適な学びと
協働的な学びの一体的充実
- ③ ユニバーサル・デザインの視点を生かした
わかる授業づくり
 - ・構造化・視覚化・焦点化

❖アクション

(2) 認め合う仲間・心のバリアフリー

- ④ 学級経営の充実
 - ・自己肯定感の育成
 - ・多様性の尊重
- ⑤ 道徳科を要とした道徳教育の充実
 - ・「考え方・議論する」学習活動
- ⑥ 豊かな体験活動
 - ・地域交流
 - ・異年齢交流

❖アクション

(3) 健康安全のセルフ・マネジメント

- ⑦ 自ら運動に親しむ資質・能力の育成と体力向上
 - ・教科体育の充実
 - ・運動の日常化
- ⑧ 健康安全教育の充実
 - ・基本的な生活習慣
 - ・食育
 - ・危険回避能力

❖アクション

(4) 寄り添う支援

- ⑨ 子ども支援体制の充実・強化
 - (子ども支援部会、ケース会議、スマイルプラン、個別の指導計画、児童・保護者面談、児童アンケート等)
- ⑩ 保護者・地域と連携した教育活動の展開
 - (生活科、総合的な学習の時間、特別活動等)
- ⑪ 適時適切な情報発信と学校公開
 - (授業参観、懇談会、学校HP)による開かれた学校づくり
- ⑫ 学校運営協議会での教育ビジョンの共有並びに
学校評価による学校経営改善の推進